

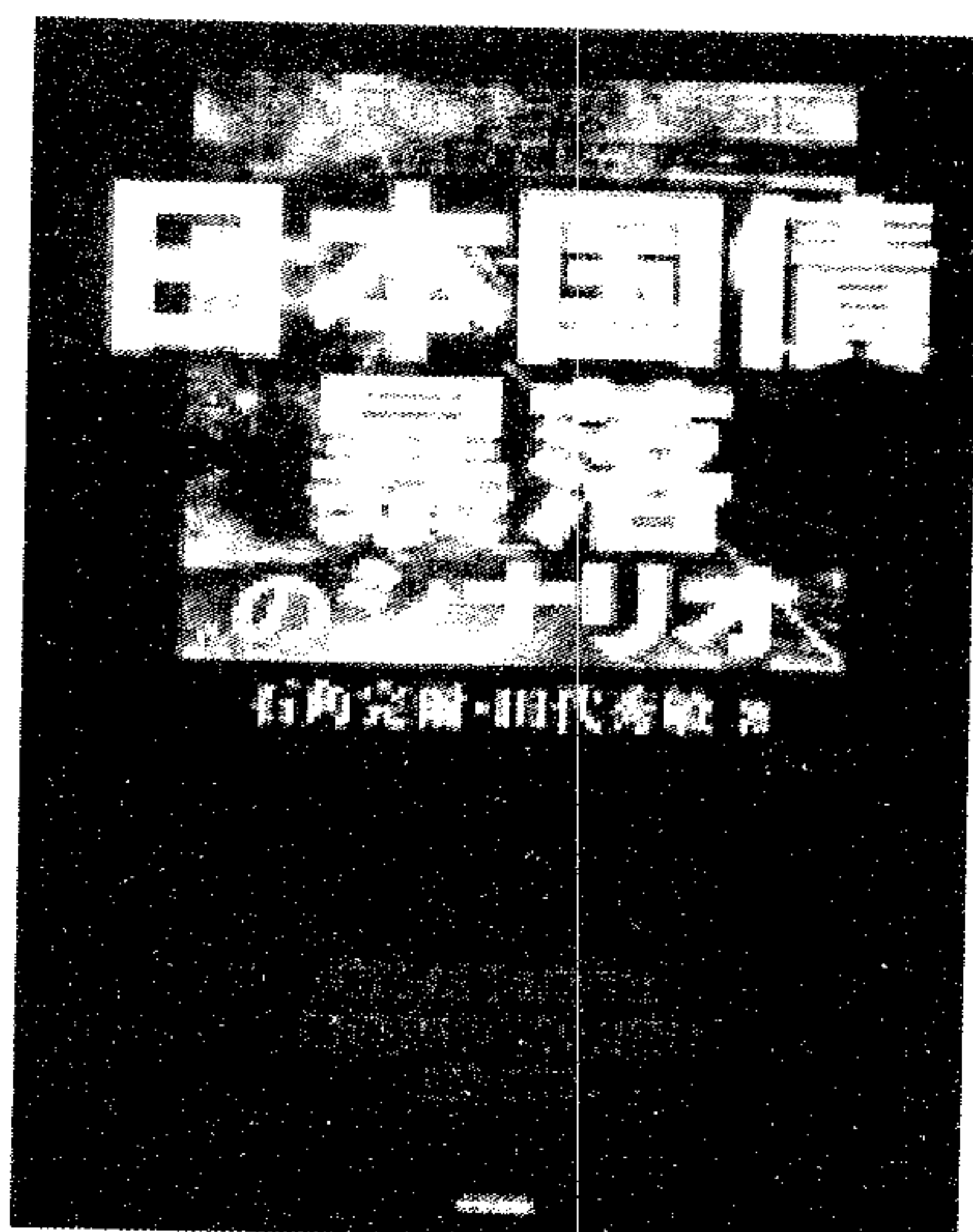
石角完爾さん 新刊出版記念サイン会

「みんなが知らないうちに買っている

日本国債暴落のシナリオ」(中経出版刊)

日時: 2011年2月20日(日) 午後2時～

場所: 紀伊國屋書店 NY 店 2F カフェ横イベントスペース



[内容情報]

経済大国の没落は、超低金利の後に起きてきた。
国債暴落の予兆は、いたるところに現れている。

[目次から]

第1章 日本国債がデフォルトする日(世界の投資家は、日本国債をどのように見ているか; 国債とは何か—「国民一人ひとりの借金」であることを日本人は自覚しているか ほか)

第2章 日本国債を買う人がいなくなる!(日本国債の「格付け低下」で、投資家を買わなくなる; 仕方なく日本国債に投資してきた「金融機関」が買わなくなる ほか)

第3章 日本から中国への「マネーシフト」が起きる!(日本国債は、国際金融情勢と無縁では
いられない; 米国・欧州・日本は「金欠」、中国は「金余り」 ほか)

第4章 日本国債の暴落で、私たちの生活はどうなるか(国債暴落で、日本国民の生活はどう変わるか; 国債暴落で、円安になるとどうなるか ほか)

第5章 日本国債の暴落に備えて、何をすればいいか(「日本国債は大丈夫」という主張に惑わされるな; 国債暴落に備えて、資産をどのように守るか ほか)

[著者紹介情報]

石角完爾[イシズミカンジ]

1947年生まれ。京都大学法学部卒業。通産省勤務を経て、ハーバード大学でロースクール修士となり、ウォール街の法律事務所シャーマン・アンド・スターリング法律事務所勤務を経て帰国。現在は、千代田国際経営法律事務所の代表として国際弁護士として活躍。スウェーデン在住

田代秀敏[タシロヒデトシ]

1957年生まれ。一橋大学経済学部卒業。同大学院で経済学修士号を取得。みずほインベスターズ証券調査部エコノミスト、日興コーディアル証券国際市場分析部部長、大和総研主任研究員を経て、現在はビジネス・ブレイクスルー大学経営学部グローバル経営学科教授(本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです)